

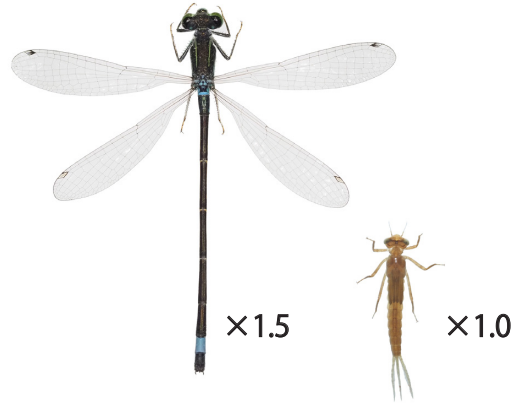
いろいろなトンボのなかま

トンボにはいろいろななかま(グループ)があります。コウノトリがくらす場所の水辺(レンコン田、田んぼ、ビオトープ、水路など)では、おもに以下の三つのなかまが見られます。

次のページから、コウノトリがくらす場所の水辺で見られるおもなトンボを、なかまごとに紹介していますので、見ていきましょう。

イトトンボのなかま

写真はアオモンイトトンボ



成虫 幼虫(ヤゴ)

- はねは小さく、前ばねと後ばねが同じ大きさ
- 腹が細い
- 体長は3~4cmほど
- ヤゴは細長いかたち

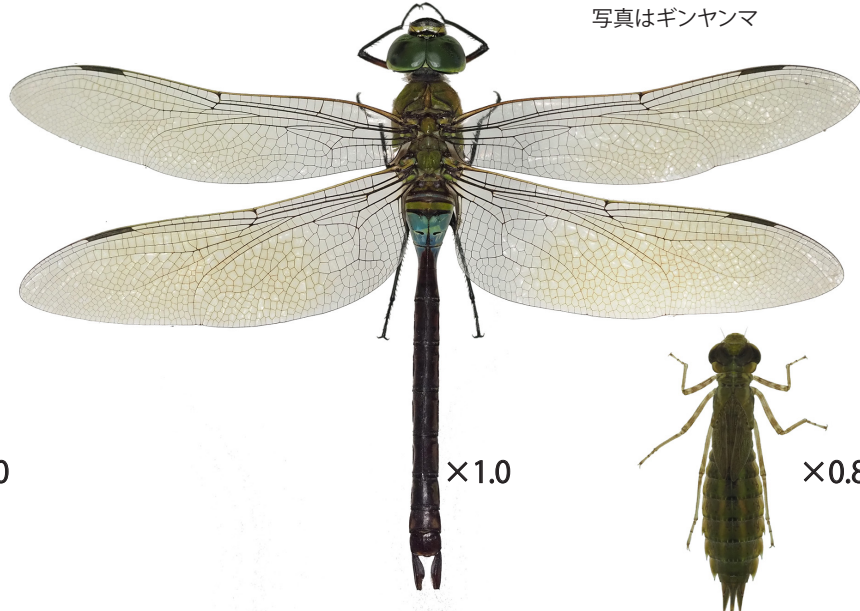


左右の複眼ははなれる

メスの腹の先には「産卵管」がある

ヤンマのなかま

写真はギンヤンマ



成虫 幼虫(ヤゴ)

- はねは大きく、後ばねは前ばねよりも大きい
- 腹が太い
- 体長は6~8cmほど
- ヤゴは太く長いかたち

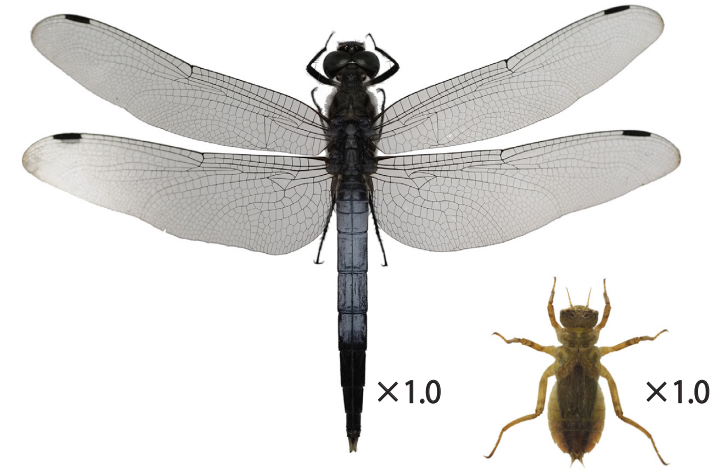


左右の複眼は広くせつする

メスの腹の先には「産卵管」がある

トンボのなかま

写真はシオカラトンボ



成虫 幼虫(ヤゴ)

- はねは大きく、後ばねは前ばねよりも大きい
- 腹が太い
- 体長は4~6cmほど
- ヤゴは丸っこいかたち



左右の複眼は1点でせつする

メスの腹の先には「産卵管」がない

※産卵管：卵を産むときに使う針のような器官。イトトンボやヤンマのなかまはメスの腹の先に産卵管があり、卵を産むときは水辺の植物に産卵管をさして、そこから卵を産みこみます。トンボのなかまは産卵管がないため、水辺の植物や泥などに腹の先を打ちつけて、そこに卵を附着させます。

※ヤゴの大きさは、しゅうれい幼虫(羽化する前まで脱皮した幼虫)の大きさを基準にして示しています。